

自己点検・評価表

実施日:令和 2 年 6 月 29 日

学校名: 群馬法科ビジネス専門学校

1. 学校の教育目標

本校は法学に関する理論と応用を授け其の蘊奥(うんおう)を攻究せしめるほか広く一般教養学科を授けて個性豊かな人間形成に努めて平和的かつ文化的国家および社会の発展に奉仕する人材を養成することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本学の教育内容・評価に関し、広く告知できる環境を整備する。
告知に値する成果を得られるよう、教育環境を充実する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
2	・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
4	・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
5	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

3.2020年の教育改革によるニーズの変化を調査・予測し、それに対応した将来構想を描く。(継続)

② 今後の改善方策

3.教育課程編成委員会における指摘を踏まえ、社会から求められる公務員像を常に確認していく。(継続)

③ 特記事項

特になし。

2 学校運営		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
3	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
4	・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1
5	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
6	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
7	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
8	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

3. 5. 全職員が目的・情報を共有し、明確な指示のもと、一体となって行動できるようにする。

② 今後の改善方策

全般:法人本部との間での意見交換の場を増やす。

③ 特記事項

8. 教務事務要員の配置により、事務処理効率が飛躍的に向上した。

3 教育活動		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
2	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
4	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
5	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
6	・専門分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
7	・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
8	・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
9	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
10	・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
11	・人材育成の目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
12	・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
13	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
14	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

- 5.地域、行政との連携実習における評価を基に、時期・内容の再検討をする。
- 8.進路先の人材ニーズについて、調査する機会を増やすことを続ける。

② 今後の改善方策

- 7.11.12.職員相互間に授業評価や研修、また、外部の研修への参加機会を増やしていく。
- 7.学生アンケートのフィードバックを早期に行う。
- 5.行政との連携に関し、本課程の実習に該当しなくとも可能なものを検討していく。

③ 特記事項

- 6.本学学生が目標とする公的機関においては、単位取得を目的としたインターンシップ、ボランティアは受け入れしてもらえないため、実施していない。

4 学修成果		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
2	・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
3	・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
5	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

卒業生の現況の把握、調査を定期的に行うようにする。

② 今後の改善方策

4.進路先による業務説明会開催を依頼することで、卒業生の状況を確認していく。

③ 特記事項

公務員試験合格者は毎年、増加しており、学修成果は高水準を維持しているといえる。

5 学生支援		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
2	・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
5	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
6	・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
7	・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
8	・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
9	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
10	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

2. 4. 学生の健康面への対応として保健室の充実、精神面への対応としてスクールカウンセラー等相談員の充実を図る。

② 今後の改善方策

2.4.学生の精神面でのケアについて、学園グループ全体の問題として提起する。

③ 特記事項

2.女性職員の採用により、女子学生への相談体制が向上した。

6 教育環境		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
2	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
3	・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

1.学生の使用する備品等の老朽化や破損への対応、及び修繕を適切に行う。

② 今後の改善方策

1.募集の状況を踏まえ、よりよい教室環境の確保を法人本部と検討する。
教室における適正収容人数について、法人本部と調整する。

③ 特記事項

2.海外研修は行っていない。

7 学生の受入れ募集		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
2	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
3	・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

2.学生の合格状況、進路先等を高校へタイムリーに伝達できるよう取り組む。

② 今後の改善方策

2.今後増加が予想されるネット媒体による広報活動に、全職員が関与できる体制を検討する。

③ 特記事項

特になし。

8 財務		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
3	・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
4	・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

1.公務員受験者は確実に一定数存在するものの、プラスアルファの部分に関して減少することは確定的である。これに対応するための合格実績維持と多方面展開に向けての人材確保に資源投下を進めたい。

② 今後の改善方策

1.展開中のコースに加え、現在保有している資源(人材・施設)を利用した新たなコース展開を検討する。

③ 特記事項

1.外部向け有料講座の収益事業化の検討を法人本部と行っている。

9 教育の内部質保証システム		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
2	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
4	・自己点検結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

1.長時間勤務問題は軽減しつつあるが十分に解決できていない。
学生対応について標準時間の設定が可能か検討の余地がある。

② 今後の改善方策

1.カリキュラム改善による学生指導の効率化。
人員増による業務分担促進、勤務形態の工夫。

③ 特記事項

特になし。

10 社会貢献・地域貢献		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
2	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
3	・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

1.学校の位置付けがボランティア紹介窓口に止まっている。

② 今後の改善方策

2.現在、学校からのボランティア活動の支援はしているが、今後は、ボランティアサークルの発足などを含め学生主動の参加を強化できるよう検討していく。

③ 特記事項

3.教育訓練の受託は行っていないが、高校、大学等への派遣授業、公務員試験に関する説明会等を受諾し、行っている。

11 国際交流（必要に応じて）		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・2、不適切・1			
1	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
2	・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
3	・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
4	・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

本校の就職目標である公務員は、日本国籍を有することが前提となっており、そのため留学生は基本的に受け入っていない。